

モビリティの歴史

History of mobility

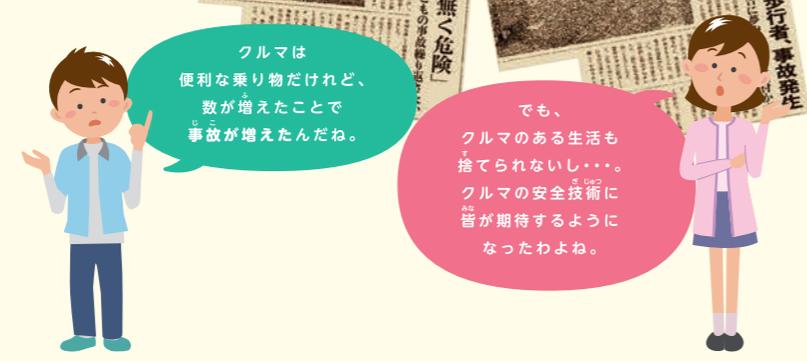
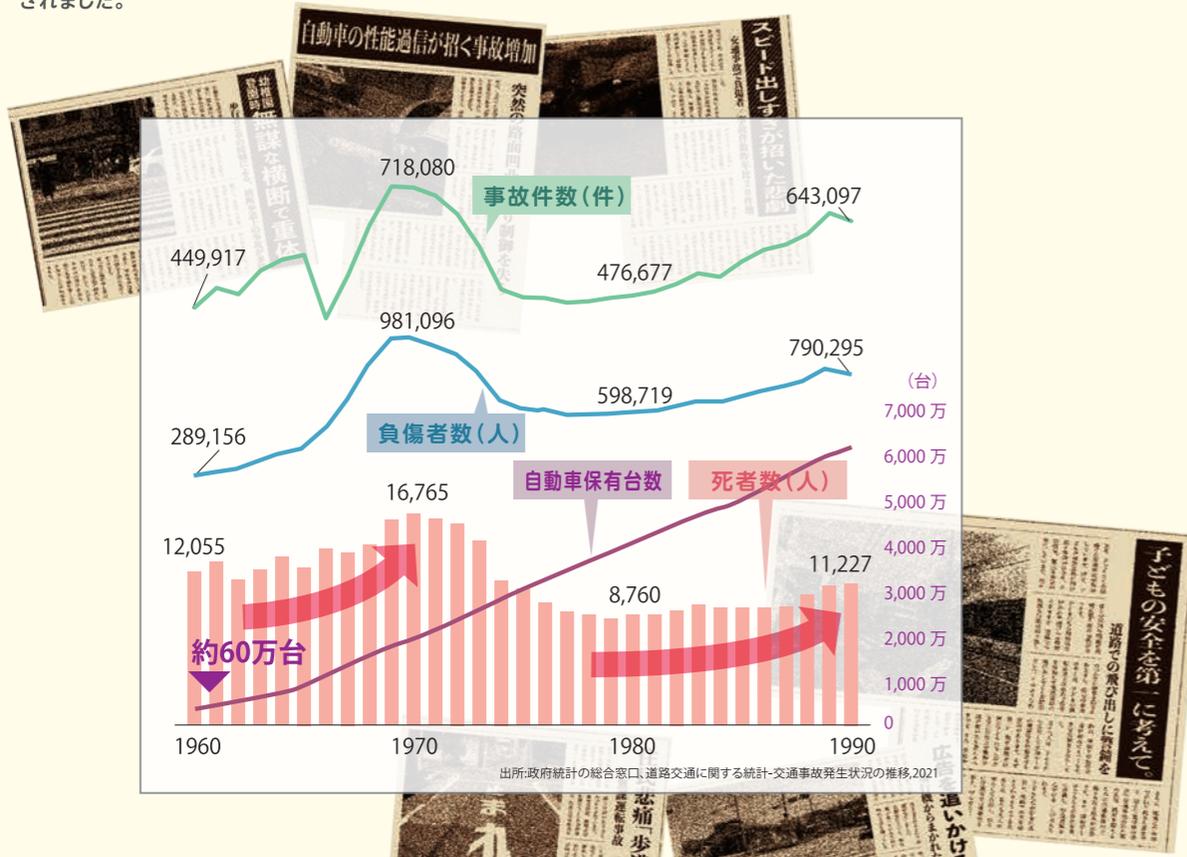
～平安 鎌倉・室町・戦国 江戸 明治・大正 昭和・平成 令和

いつでもどこへでも自由に移動できる手段の変遷



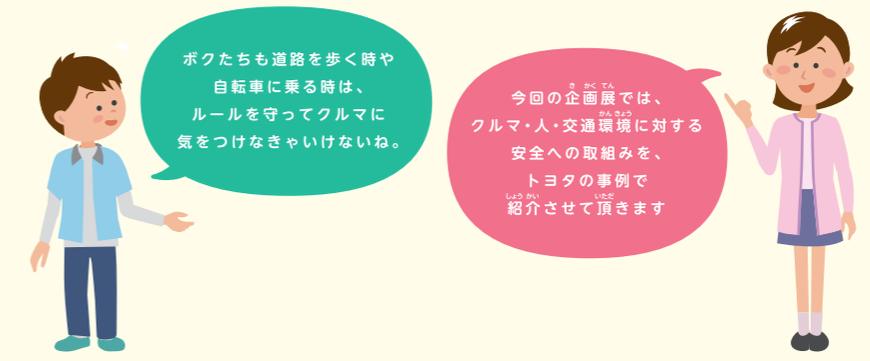
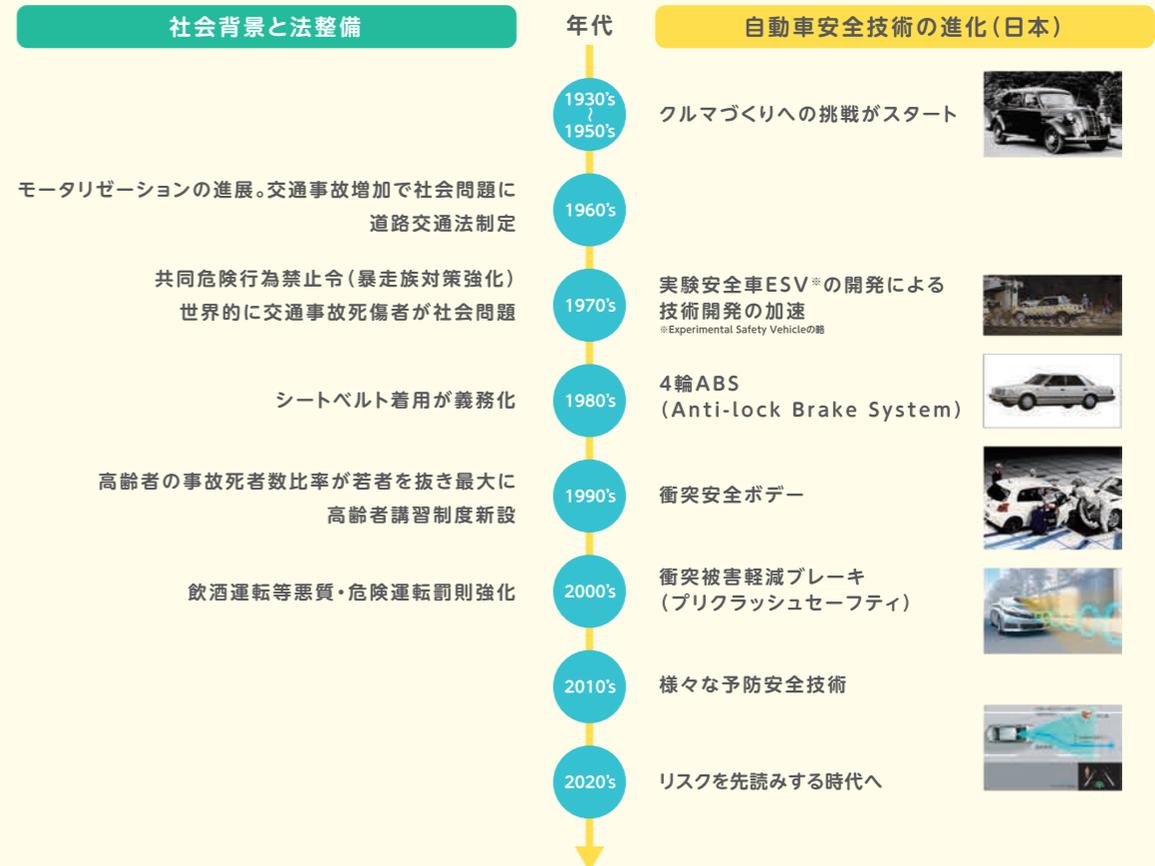
現在の展示
今回の企画展
トヨタ産業技術記念館開館(1994)
開館からの30年分を加え、テーマごとに企画展を開催

1960年代、日本では急速にモータリゼーションが進展し、自動車が経済と国民生活の向上に大きく寄与しました。しかし、1967年には自動車保有台数が1,000万台を超え、それに伴い交通渋滞と事故が増加、特に1969年には交通事故が約72万件、1970年には死者数が1万6,765人と史上最多に達し、社会問題としてクローズアップされました。



交通事故死傷者を減らすために、

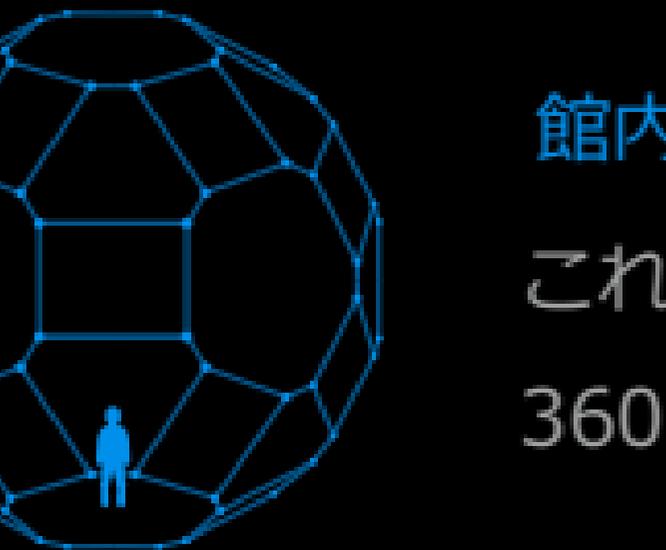
自動車メーカーは「死傷者ゼロ」を目標に掲げ、より安全なクルマの開発に取り組みました。そして国や自治体は法整備やインフラ整備、教育などを行ってきました。



館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <http://www.tcmit.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.